



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 東  
 コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 正和  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理本部長 (氏名) 中村 秀麿 TEL 075-313-6151  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,400	1.6	840	7.5	950	6.4	636	27.1
2019年3月期第2四半期	13,191	1.0	782	△7.7	893	△5.6	500	△20.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 447百万円 (△37.5%) 2019年3月期第2四半期 715百万円 (△50.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	33.48	—
2019年3月期第2四半期	26.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	48,069	38,882	80.5
2019年3月期	47,029	38,673	81.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 38,673百万円 2019年3月期 38,468百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	12.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	2.9	1,750	13.6	1,900	9.4	1,300	57.5	68.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	19,064,897株	2019年3月期	19,064,897株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	42,399株	2019年3月期	42,339株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	19,022,524株	2019年3月期2Q	19,022,623株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善は続いています、海外経済の動向や実質所得の伸び悩み、消費税増税の影響などの懸念材料から力強さを欠く状況となりました。世界経済においては、米中貿易摩擦の長期化や中国の景気後退、自動車・半導体業界の生産調整、設備投資の減少など、先行き不透明な状況が続きました。

物流業界におきましては、倉庫貨物保管残高は堅調に推移しましたが、入庫・出庫ともに前年比減少しました。また、国内貨物輸送量も、個人消費の伸び悩み等で減速感がみられ、世界経済の減速に起因して輸出入貨物量も減少しました。加えて、人手不足がより深刻かつ常態化する中、人件費が上昇し燃料価格も高止まりするなど、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、当連結会計年度よりスタートした第6次中期経営計画「CHANGE! to 2021」の具体的取組を着実に実践に移し、また「CHANGE（意識・知識・組織）」の考え方の浸透を推し進めて参りました。また、顧客ニーズへの的確な対応と業務の効率化を図るため、既存設備の改修を進めるとともに、2019年5月にさらなる事業拡大のため滋賀県大津市に倉庫施設建築用地を取得しました。加えて、新分野への取組みと位置付けている梅小路地区資産有効活用計画も着実に進めており、その計画の一環として、当社本社および京都支店梅小路営業所の隣接地である京都市市有地を2019年8月に取得しました。

また、さらなる業務品質の向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は13,400百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は840百万円（前年同期比7.5%増）、経常利益は950百万円（前年同期比6.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に特別損失に計上した減損損失がなくなったことから636百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 倉庫業

倉庫業におきましては、入出庫高及び貨物回転率は前年同期に比し減少しましたが、保管残高はほぼ横ばいとなりました。これらの結果、倉庫業の営業収益は3,260百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は前期に発生した新規保管取扱貨物に関する費用がなくなったことなどから412百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

## ② 運送業

運送業におきましては、取扱数量は減少し、人件費は増加しましたが、料金改定や配送・配車の効率化、営業活動の強化などにより、運送業の営業収益は6,331百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は530百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

## ③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、梱包業の取扱数量は減少しましたが、通関業の取扱数量は輸入・輸出ともに増加しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は3,882百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は259百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,039百万円増の48,069百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が606百万円、固定資産の投資有価証券が265百万円、それぞれ減少しましたが、滋賀県大津市の倉庫建築用地と本社に隣接する京都市市有地を取得したこと等により固定資産の土地が1,761百万円、現在建築を進めております北陸支店金沢営業所倉庫増設工事等に係る建設仮勘定が675百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ831百万円増の9,187百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれております未払金が278百万円、設備関係支払手形が403百万円、それぞれ減少しましたが、新規借入れ等により、流動負債の一年内返済予定の長期借入金が338百万円、固定負債の長期借入金が1,197百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ208百万円増の38,882百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が186百万円減少しましたが、利益剰余金が399百万円増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.3ポイント減の80.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,495百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローで3,592百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローで1,290百万円の増加となり、前連結会計年度末に比べ806百万円(12.1%)減少し、当第2四半期連結会計期間末には5,835百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものであり、1,495百万円と前年同期と比べ503百万円(50.8%)の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に、定期預金の預入による支出及び有形固定資産の取得による支出によるものであり、3,592百万円と前年同期と比べ1,478百万円(69.9%)の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、主に、長期借入れによる収入によるものでありますが、長期借入金の返済及び配当金の支払いによる減少もあり、1,290百万円(前年同期は429百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、2019年5月10日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,891,865	7,285,011
受取手形及び営業未収入金	4,569,391	4,461,543
貯蔵品	8,274	6,227
その他	299,585	261,211
貸倒引当金	△2,400	△2,408
流動資産合計	12,766,717	12,011,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,331,795	11,967,865
機械装置及び運搬具(純額)	664,958	674,585
土地	10,201,430	11,962,569
リース資産(純額)	24,397	14,007
建設仮勘定	969,278	1,644,300
その他(純額)	132,813	130,172
有形固定資産合計	24,324,674	26,393,499
無形固定資産	43,743	41,099
投資その他の資産		
投資有価証券	9,478,379	9,213,047
繰延税金資産	54,720	55,279
退職給付に係る資産	5,702	8,357
その他	357,092	348,068
貸倒引当金	△1,915	△1,915
投資その他の資産合計	9,893,979	9,622,837
固定資産合計	34,262,398	36,057,437
資産合計	47,029,115	48,069,023

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,512,494	1,442,786
短期借入金	3,110,000	3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	256,057	594,668
リース債務	17,405	10,257
未払法人税等	210,780	264,044
賞与引当金	259,595	279,673
役員賞与引当金	37,300	19,900
その他	1,212,960	549,776
流動負債合計	6,616,593	6,271,106
固定負債		
長期借入金	238,554	1,436,220
リース債務	8,925	4,863
繰延税金負債	1,246,640	1,218,013
退職給付に係る負債	155,111	166,693
その他	90,023	90,113
固定負債合計	1,739,255	2,915,903
負債合計	8,355,848	9,187,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	29,953,871	30,352,910
自己株式	△36,791	△36,855
株主資本合計	34,915,181	35,314,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,491,100	3,304,253
為替換算調整勘定	199	△1,810
退職給付に係る調整累計額	62,328	56,681
その他の包括利益累計額合計	3,553,629	3,359,125
非支配株主持分	204,455	208,731
純資産合計	38,673,266	38,882,014
負債純資産合計	47,029,115	48,069,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	13,191,223	13,400,521
営業原価	12,059,020	12,175,694
営業総利益	1,132,202	1,224,827
販売費及び一般管理費	349,950	384,228
営業利益	782,252	840,599
営業外収益		
受取利息	85	85
受取配当金	110,644	115,737
社宅使用料	6,136	6,023
持分法による投資利益	6,595	2,033
その他	10,775	5,352
営業外収益合計	134,237	129,231
営業外費用		
支払利息	15,069	16,758
その他	8,333	2,561
営業外費用合計	23,403	19,319
経常利益	893,086	950,510
特別利益		
固定資産売却益	5,137	5,513
特別利益合計	5,137	5,513
特別損失		
固定資産売却損	21	—
固定資産除却損	13,557	1,426
減損損失	147,774	—
投資有価証券評価損	—	3,994
特別損失合計	161,353	5,420
税金等調整前四半期純利益	736,870	950,603
法人税、住民税及び事業税	282,381	256,826
法人税等調整額	△52,473	53,349
法人税等合計	229,908	310,175
四半期純利益	506,962	640,427
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,967	3,607
親会社株主に帰属する四半期純利益	500,995	636,820



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	506,962	640,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	211,625	△185,422
退職給付に係る調整額	3,304	△5,646
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,559	△2,009
その他の包括利益合計	208,369	△193,079
四半期包括利益	715,332	447,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709,188	442,316
非支配株主に係る四半期包括利益	6,143	5,031

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	736,870	950,603
減価償却費	646,616	644,780
減損損失	147,774	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	497	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,947	20,078
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	△17,400
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,127	626
受取利息及び受取配当金	△110,730	△115,822
支払利息	15,069	16,758
持分法による投資損益(△は益)	△6,595	△2,033
為替差損益(△は益)	28	116
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,994
固定資産除却損	13,557	1,426
固定資産売却損益(△は益)	△5,116	△5,513
営業債権の増減額(△は増加)	43,638	107,847
たな卸資産の増減額(△は増加)	△788	2,047
その他の資産の増減額(△は増加)	△81,782	44,865
営業債務の増減額(△は減少)	△112,188	△69,707
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,146	86,671
その他の負債の増減額(△は減少)	△23,595	△65,523
小計	1,221,289	1,603,824
利息及び配当金の受取額	111,230	116,322
利息の支払額	△12,838	△18,853
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△327,711	△205,495
営業活動によるキャッシュ・フロー	991,969	1,495,798
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,250,000	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△840,601	△3,238,363
有形固定資産の売却による収入	8,513	9,486
有形固定資産の除却による支出	△10,550	△164,160
その他	△22,060	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,114,697	△3,592,898
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△137,500	△163,723
リース債務の返済による支出	△15,671	△11,210
自己株式の取得による支出	△54	△63
配当金の支払額	△275,763	△233,883
非支配株主への配当金の支払額	△756	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△429,744	1,290,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,552,502	△806,853
現金及び現金同等物の期首残高	8,326,760	6,641,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,774,258	5,835,011

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,116,231	6,392,095	3,682,896	13,191,223	—	13,191,223
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	50,416	15,514	—	65,930	△65,930	—
計	3,166,647	6,407,609	3,682,896	13,257,153	△65,930	13,191,223
セグメント利益	341,015	517,550	249,104	1,107,670	△325,418	782,252

(注) 1. セグメント利益の調整額△325,418千円には、セグメント間取引消去△30千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△325,388千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「倉庫業」セグメントにおいて、梅小路地区の資産有効活用に伴い一部既存倉庫設備の解体の意思決定を行い将来の使用見込みがなくなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、147,774千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,199,777	6,318,580	3,882,163	13,400,521	—	13,400,521
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	61,176	12,888	—	74,064	△74,064	—
計	3,260,954	6,331,469	3,882,163	13,474,586	△74,064	13,400,521
セグメント利益	412,596	530,030	259,312	1,201,940	△361,340	840,599

(注) 1. セグメント利益の調整額△361,340千円には、セグメント間取引消去△11千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△361,329千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。